



道

学校教育目標
ともに学び、
心豊かで
たくましい
子供の育成



生活を通して学ぶ

校長 深川 善弘

もうすぐ校舎の屋上に太陽光発電のパネルが設置されます。体育館の電灯も、来月中には「LED」に交換するとのことで、本校も徐々に「省エネ」対応の施設に変わりつつあります。

ちょうど今月「COP21」（気候変動枠組条約第21回締約国会議）という国際的な会議がフランスで開かれました。地球温暖化を食い止めるために、先進国もその他の国も、二酸化炭素の排出を規制しようということで、世界的な合意がなされました。日本はこの会議で、2030年度に2013年比で温室効果ガスを26%削減し、私たちの暮らしに関係する家庭部門の二酸化炭素については、約40%の削減目標を掲げたとのことでした。多少の費用はかかっても、照明器具の買い換え時には、「LED」に変えなくてはならない時代になったと感じています。

4年生は、この二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスの削減について地元の講師を招いて学習し、「チャレンジ環境10」という取組をしました。これは、家庭の協力を得て、家族みんなで「省エネ」について話し合い、実践する取組で、実際の生活を通して学習をすることに特色がありました。

さて、本校にはケヤキをはじめとかなりの数の樹木があります。最近その中の広葉樹の木々から、ようやく全ての葉がなくなりました。これまでに、たくさんの落ち葉が歩道や道路にあふれ、近所の方々にはご迷惑をかけたことと思います。葉が散り始めてから、ほぼ2か月間、児童、職員共に、落葉を集めて「とうぶの森」（グラウンドの国旗掲揚塔の後ろにある森）へ運ぶことに、かなりのエネルギーを費やしました。特に、雨に濡れた落ち葉は地面に密着してなかなかとれません。強く地面をこするので、どの竹箒も擦り切れてしまっています。用務担当の職員は、毎日リヤカーを引いて、大変な苦勞をされたと思っています。

しかし、おかげさまで「とうぶの森」は落ち葉の絨毯でフカフカの状態です。ケヤキの葉はよい腐葉土になるとのことで、やがて土に返って木々の栄養となります。やはり、焼却ゴミとして出すことなく、自然に返してやるのがよいことだと思います。そのように考えると、その意義を児童にしっかりと伝えることができれば、落ち葉集めも有効な「環境教育」の機会になるはず、と思いました。

このようなことは、身の回りにたくさんあると思います。機会を捉えて、子供たちに教えていきたいと思っています。ぜひ、ご家庭でもご協力をお願いします。



アクションプランの取組経過について（お知らせ）

2学期の取組の結果をお知らせします。

（12月7日現在）

	重点課題	数 値 目 標	目標達成率
1	本に親しむ児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・85%以上の児童が、年間目標冊数を読む。 低学年60冊以上（2学期は45冊以上） 中学年30冊以上（2学期は25冊以上） 高学年20冊以上（2学期は17冊以上） ・85%以上の児童が「おすすめの本」の年間目標冊数を読む。 低学年10冊以上（1学期は8冊以上） 中学年 8冊以上（1学期は6冊以上） 高学年 5冊以上（1学期は4冊以上） 	2学期末の読書冊数達成率 (低)85.1%(中)82.3% (高)94.6% (全)87.6% 「おすすめの本」達成率 (低)84.2%(中)75.2% (高)71.9% (全)75.4%
2	気持ちのよいあいさつや言葉遣いをする児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつについて自分の目当て達成者80%以上 ・丁寧な言葉遣いについて目当て達成者80%以上 ※ いずれも自己評価	あいさつ (全) 96.7% 言葉遣い (全) 93.4%
3	進んで体力づくりに取り組む児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなでチャレンジ富士山3776」の達成者80%以上を目指す。（2学期は雄山頂上まで） ・縄跳びの学年到達目標の達成者80%以上を目指す 	雄山頂上までの達成率 (全) 86.2% 縄跳びの達成率 (全) 80.6%

【考察及び今後の取組】

【読 書】

読書の目標冊数を超えた児童は、全体で88%となり、1学期の達成率89%とほぼ同じ結果となりました。中でも高学年が、95%と、よくがんばっています。これは、毎年積み重ねてきた読書の習慣が身に付いてきているからだと思われます。しかし、中学年が82%と目標に達することができませんでした。また、「おすすめの本」の達成率も全体で75%と目標の85%を大きく下回る結果となりました。このことから、おすすめの本に手を伸ばすような環境作りに、多くの課題があったと思います。

そこで、3学期は、各担任がもっと積極的に本のよさを伝える、児童同士で良書を紹介し合う等、児童がおすすめの本を読もうとする気持ちを高めるように働きかけたいと思います。さらに、おすすめの本を読みやすくする環境作りのために、各学級に「おすすめの本」を一定期間置いておくこと、また、図書委員会におすすめの本を放送や掲示で紹介してもらうなどして、関心をもつように働きかけます。そして、読書の記録を積み重ねることが楽しくなるようにしていきたいと思います。

冬休みの親子読書の取組でも、どんな本を選ぶかを親子で話し合ったり、読み聞かせをし合ったりして、読書の楽しさが感じられるようにご協力をお願いします。

【あいさつ・言葉遣い】

あいさつの自己評価は96.7%で、1学期とほぼ同じ達成率でした。おむすび委員会と安心・安全さわやか委員会とで毎朝行っている児童玄関でのあいさつ運動や各教室を回ってのあいさつの呼びかけが、功を奏しているようです。また、「滑川市あいさつの日」に合わせて全校児童にあいさつ運動への参加希望を募ったところ、全学年から2割を超える児童が参加しました。教育委員会の方と一緒に朝のあいさつをする様子を見てみると、あいさつに対する意識の高まりが伝わってきました。これから寒くなる季節に向けても、この意識を継続させたいと考えています。

言葉遣いの自己評価は、93.4%とこちらもほぼ同じ達成率となりました。今年度は、丁寧な言葉遣いとして、『です』『ます』を使う」と「相手を思いやる言葉を使おう」の2つに観点をしぼっていますが、その観点が子供たちの中に浸透しつつあるようです。しかし、つい乱暴な言葉を遣ってしまう児童はまだいますので、担任や周りの教職員が見逃さずに指導をしているところです。

冬休みは、地域の方や親戚の方と接する機会が増えます。気持ちのよいあいさつや丁寧な言葉遣いができるように、ご家庭でも、見守ったり指導したりしてくださるようお願いいたします。

【体力づくり】

2学期の到達目標は、雄山頂上（3015M）まで到達することでした。1学期に引き続いての取組なので、どの教室でも早くから目標達成に向けて取り掛かり、着実に達成できたようです。

今年度から取り入れた縄跳びについては、1学期は取りかかりが遅かったことや目標の設定が児童の実態と合っていなかったこと等の理由で、どの学団でも目標を達成できず、全体としても53.6%と低い達成率でした。この結果を受けて、2学期当初、目標の見直しを図り、児童の実態に合った目標に設定し直したところ、到達できそうな目標になったことで意欲的に練習に取り組む児童が増えました。また、3分間運動の時間を有効に活用したこと、体育の時間に授業の一環として取り入れたことも効果的だったと思います。さらに、11月の教養講座で縄跳びのプロの技を見たこともよい刺激となったようで、その後さらに前向きに練習している姿がよく見られました。

縄跳びは、年間を通して取り組むことができ、特に冬場の体力づくりにも最適な運動です。今後も楽しんで練習に取り組めるように工夫をしていきたいと考えています。

今後も一人一人が目標達成できるよう励ましていきたいと思っています。ご協力をお願いします。